

いのくま前区議 励ますつどい 必ず議席奪還 あと2ヶ月

日本共産党

ご場坂木布 会
た 本麻 援
あ台赤六南 後
ニュー

2015年3月

星野たかし事務所 三四四二―三二七三
杉浦竈雄 〇九〇―五四〇―一六三三九
斎藤正一 三四七〇―一六九七

〈部内資料〉

2月21日土曜日、「いのくま正一前区議を励ますつどい」が開かれました。80人の方々が参加され、「何ともしてもいのくまさんの議席を取り戻そう」と決意を新たにしました。いのくま正一前区議は「4年間は悔しい思いで運動を進めてきた、何としても区議会にカムバックして区民の要求を実現したい」と決意を述べました。多くの参加者から必ず勝利させようとのスピーチを頂きました。歌や民謡、ジャンケンゲームを楽しみながら勝利に向けた集いになりました。



決意を述べるいのくま候補



スピーチを聞く参加者



資料を見る参加者



前川弁護士



星野前区議



藤井実行委員長



ジャンケンゲーム

前回78票差で惜敗。

支持を広げてください

議席をとりもどすための 5つのお願い

激戦を勝ち抜き、いのくま正一候補の議席を必ずとりもどすための 5つのお願いです。

- ①「日本共産党後援会ニュース」を読んでくださる方をご紹介ください。
- ②いのくま正一候補への支持を3人、5人と広げてください。
- ③日本共産党といのくま正一候補の政策チラシを届ける方をご紹介ください。
- ④選挙勝利に必要な募金にご協力をお願いします。
- ⑤「しんぶん赤旗」(日刊紙、日曜版、東京民報)を購読する方をひろげてください。

2015年2月21日 いのくま正一前区議を励ますつどい実行委員会



プレゼントを受けるいのくま候補

東日本大震災 被災現地から (メッセージ)

いのくま 正一候補の必勝を訴えます

「いのくま正一前区議を励ますつどい」にお集まりのみなさん。

私たちは、日本共産党宮城県東部地区委員会や石巻の震災救援センターで日々活動しています。2011年の大震災から4年がたとうとしています。東京や港区の日本共産党と後援会のみなさんには、この間多大なご支援をいただき、本当にありがとうございました。

その中でも、いのくま正一さんの被災地への支援は、特に私たちにとって強烈な印象があります。いのくまさんは、震災直後に被災地石巻市にボランティアの受け入れ担当として1ヶ月間はりつき、昼夜をわかたずに被災直後の被災者によりそい、そして連日、何十人とか100人規模で駆けつけるボランティアを、泥だし、救援物資の届け、要望の聞き取りなどに組み分け、救援センターの運営の一翼をになってくれました。ボランティアの受け入れは、合わせて3回来られ、45日にも及びます。

さらに、いのくまさんは、この4年間に港地区委員会のボランティアを19回組織し、石巻市や東松島市、南三陸町、女川町、牡鹿半島などに、細かくボランティア活動を展開してきました。石巻市内の表通りから細い抜け道まで知り尽くしているのが、いのくまさんです。

仮設住宅を中心に、被災者の声を聞き、救援物資を届け、無料バザーをおこない、寒いときには、心も体もあったまるカレーライスや豚汁の炊き出しをしてくれました。被災者からは「こうやってあなた方が支援に来てくれるから、私たちは頑張れる」と感謝されています。

いのくまさんの活動の特徴は、19回のボランティアすべてで、被災地の現場がどうなっているか、被災者が何を望んでいるか、復興への真の対策はどうあるべきかをつかみ、それを東京や港区民へ、「ボランティア報告」として、必ずニュースで返していることです。ですから、港区の赤旗読者や後援会の方々は、被災地の実態をよく知っているのだと思います。

「困っている人をほっとけない」=これが、いのくまさんの活動の原点です。それを心から実感しているのが、私たち被災地、被災者です。

この、いのくま正一さんを、なんとしても、区議会へカムバックさせようではありませんか。私たちも石巻から全力で応援いたします。

2015年2月21日

日本共産党宮城県東部地区委員会 地区委員長 三浦一敏(宮城県議会議員)
震災救援センター スタッフ一同

共産党の提案が実現しました

毎年のように予算修正案で要求



第二子以降の保育料の無料化は、私が現職の時に毎年のように予算修正案で要求し、条例を提案してきたものです。区民の要望を受けて提案したことが実現できてほんとうに嬉しいです。

いのくま正一

4月1日から港区の保育園・幼稚園の第二子以降の保育料が所得制限なしで無料になります。日本共産党は、2008年から予算委員会でも第二子以降の保育料を無料にする予算の修正案を提出してきました。

**当初 認証保育園は対象外
共産党の要求で対象が拡大**

港区は、この制度を実施すると発表した時は、認証保育園の園児は対象にいませんでした。保健福祉常任委員会でも共産党の委員が「認可保育園に入園できず、やむを得ず認証を利用せざるを得ない子どもが対象にならないのはおかしい」と強く改善を求めていました。

その結果、1月21日の保健福祉常任委員会で、認証保育園・サポート保育を利用している園児も対象にすると報告されました。ねばり強く主張し続けた結果、大きな成果になりました。

一方で、所得の高い方は保育料が上がってしまいます。所得の高い方の保育料を引き下げ、とりくみを強めます。

第2子以降の保育料が無料に

認証保育園の保育料の助成が大幅改善(4月1日実施)

認可保育園に入れず、やむを得ず認証保育園を利用している方には、現在、世帯の収入に応じた月4万円と2万円が区から助成されています。日本共産党は助成を2段階から多段階化するよう求めてきました。

この提案を区が受け入れ、4月から認可保育園の保育料との差額を助成するとの報告がありました。

港区探訪

新坂(しんざか) 赤坂7丁目&8丁目の境

出来た当時は、新しい坂の意味だったが、開かれたのは古く元禄12年(1699)である。しんざかともいう。

